

平成24年度
実施事業

事務事業名	消防団員貸与品購入費
-------	------------

区分	No	名称
章	2	自然とともに暮らすまち
節	3	安全に安心して暮らせるまちづくり
施策	2	消防・救急救助体制の充実
小分類	1	火災予防活動の推進
主要な施策	4	④消防団の活性化
事務事業番号	001	事業開始年度 平成 ー 年度 事業終了年度 平成 ー 年度 会計種別 一般会計

部 名	消防本部	グループ名	消防総務グループ
-----	------	-------	----------

事務事業の概要 《Plan・Do》

目 的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	それぞれの職業に従事する一方、市民の生命・身体・財産を災害から保護すると共に、被害軽減のため、昼夜を問わず火災予防啓蒙・訓練等に献身的に努力を続けられている消防団員に対し、貸与品の整備を行い、消防団の活気ある活動と消防力の充実に努める。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成24年度の実績を具体的に記入してください)
	新入団員への貸与：制服・制帽・活動服・アポロキャップ・黒短靴・ベルト・ネクタイ 経年劣化した貸与品の更新：制服・制帽・活動服
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	登別市消防団員条例定数191名に対し、現在157名（平成24年3月1日現在）が在職し、年度当初に比べて4名の増である。（入団13名、退団9名） 今後も消防団員の加入促進を図ると共に、引き続き経年劣化してゆく貸与品の更新を続けてゆく。
根 拠 法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)
	消防組織法、登別市消防団条例・同規則

事業費（財源内訳）の推移 《Plan・Do》

区 分		単位	H23年度 決算	H24年度 決算	H25年度 当初予算	H26年度 見込	H27年度 見込
国庫支出金	名称	千円					
道支出金	名称	千円					
地方債	名称	千円					
その他	名称	千円					
一般財源	名称	千円	906	906	906	906	906
事業費 合計			906	906	906	906	906

指標の推移 《Check》

区 分		単位	区分	23年度 実績	24年度 実績	25年度 目標	26年度 目標	27年度 目標
成果 指標	① 消防団員条例定数（191名）		目標値	10	10	10	10	10
			実績値	5	8			
	②		目標値					
			実績値					

比較		《Check》
平成24年度実施以前又は実施中に見られた課題、問題点等	左記の解決に向け行った取組や対策、工夫等	
<p>現状： 条例定数191名に対して、現在157名（H25.3.1現在）の消防団員が在職し、年間を通じて、災害・訓練・警戒出動に従事している。消防団員が出動する際には、主に活動服を着用しているが、災害・訓練等で活動服の生地が破損・摩耗する。 黒短靴・制服については、ほとんどの団員が入団時に貸与された物を着用しているが、30人以上（約1/5）が在職20年以上を経過し、経年劣化している。 また、22年度は10名、23年度は13名、24年度8名入団し、新入団員に対する貸与品は在庫品で対応できない部分については新規購入しなければならない。</p>	<p>対策： 新入団員の貸与に関しても、できる限り在庫品で対応してゆく。（制服、ネクタイ、作業用ベルト）</p>	

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可）		《Check》
1. 事務事業の妥当性について		
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	<input type="radio"/> ① 市が主体に行うべき事業である <input type="checkbox"/> ② 民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である <input type="checkbox"/> ③ 国、道、他団体等との連携や広域化が可能である <input type="checkbox"/> ④ 国、道、民間等の事業と重複・類似している	判断理由及びその他所見 消防組織法第6条及び第8条に、市町村に消防の責任を有し、負担するとある。
2. 事務事業の必要性について		
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	<input type="checkbox"/> ① 市民、団体等から具体的な要望がある <input type="checkbox"/> ② 市民アンケートの結果から必要性が高い <input checked="" type="radio"/> ③ 社会情勢、地域事情等から必要性が高い <input checked="" type="radio"/> ④ 市民の大部分が関連することから必要性が高い	判断理由及びその他所見 地域住民の安心・安全を守るため、消防団の活気ある活動と消防力の充実・強化には、貸与品の整備も不可欠であるため、妥当である。
3. 事務事業の効率性について		
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	<input type="checkbox"/> ① 低予算、少労力で高い効果をあげている <input type="checkbox"/> ② 市で実施するほうが民間委託より効率性が高い <input checked="" type="radio"/> ③ 多額の経費や労力を要するがやむを得ない <input type="checkbox"/> ④ 将来的に効率性を向上できる	判断理由及びその他所見 非常勤消防団員の活動に必要な貸与品を購入するための予算で、削減は難しい。
4. 事務事業の成果について		
目的を達成するための成果はあがっていますか？	<input checked="" type="radio"/> ① 成果指標の向上が見られる <input type="checkbox"/> ② 市民、団体等の声から成果を感じられる <input type="checkbox"/> ③ 目に見える形で成果があがっている <input type="checkbox"/> ④ 成果の把握は困難である	判断理由及びその他所見 非常勤消防団員の実員数が増加傾向にあり、消防力の強化が図られている。

①担当グループによる評価		《Check》
維持	左記の評価を選択した具体的な理由(根拠)	地域住民の防災意識の向上と、消防力の充実強化を図るため、消防団員の増員は必要であり、貸与品は消防団活動に必要不可欠である。

②行政評価会議による評価		《Check》
維持	備考	

③総合的な評価（当該事務事業の方向性）		《Action》
維持	備考	

〔評価区分〕

- ◆拡大（事務事業の目的を達成するために事業の規模や経費の大幅な変更が必要な事業）
- ◆維持（事業内容の根幹にかかわる部分については変更せず、不断の点検・検証による効率的な経費の活用や軽微な見直しを行い、継続的に実施する事業又は、事業計画等で予め年次的に実施する事業内容等を定めており、実施年度によって経費や実施個所等に変更が生じる事業）
- ◆改善（当該事業の目的を達成するために、現状の手段や経費、事業の方向性等、事業の根幹に関わる部分について見直す事業）
- ◆休止（暫定的に休止する事業）
- ◆廃止（事業の開始当初から目指していた成果が得られたなど、目的が達成された事業）
- ◆終了（事業の開始当初から予定していた事業期間が終了した事業）